

Ⅱ. 普及事業

1. 出版物など

■特別展図録

特別展「来て！見て！楽しむ！ 小磯良平ベストコレクション」

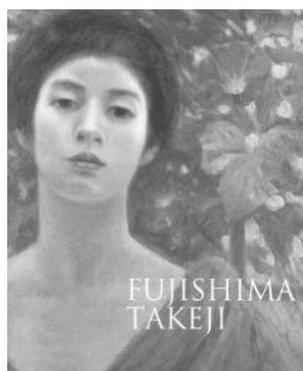
29.5×22.6cm 72頁

特別展「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展」

29.7×22.2cm 164頁

特別展「生誕150年記念 藤島武二展」

24.3×20.1cm 184頁

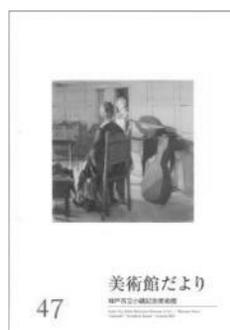


■美術館だより Vol. 47、48

美術館の活動を広報し、美術に関する話題も提供する。

平成29年9月、平成30年3月

A4判8頁



■年報No. 23（平成28年度）

平成30年3月

A4判 57頁

ホームページ上にて公開



■夏休みプログラム ミュージアムプログラム2017

平成29年6月頃
A5判 4頁



■みんなの学美場

平成29年6月頃
A4判 4頁



■Webページ

平成14年9月15日開設
当館について、展覧会、利用案内、小磯良平、普及活動、美術館通信、リンク
展覧会スケジュールにあわせて、データ更新(随時)
<http://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/>

■出版物の販売状況

過去に開催した特別展図録などを美術館のミュージアムショップで購入できる。また、郵送も取り扱っている。

出版物の名称	刊行年	販売価格
〈小磯良平および美術館関連〉		
小磯記念美術館所蔵作品総目録	1992年	3,300円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL.2	1997年	1,200円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL.3	1999年	2,000円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL.4	2005年	1,200円
小磯記念美術館 研究紀要 第1号 小磯良平の作品〔辻〕, 小磯良平とアングル〔廣田〕, 「洋和服の二人(みなとの祭りの日)」と小磯良平の1930年代の作 品について〔金井〕	1996年	700円
小磯記念美術館 研究紀要 第2号 近代挿絵と小磯良平(戦前篇)〔金井〕, 田村孝之介の1945-64年の画業(一)〔廣田〕, 印象—関口俊吾の主題と色彩表現〔辻〕	1998年	700円
小磯記念美術館 研究紀要 第3号 小磯良平と戦争画—従軍の記録と制作の過程〔廣田〕, 小磯良平に おける群像表現の探求と成果《働く人びと》(1953)に至るまで 〔辻〕	2008年	700円
生誕100年記念特別展 小磯良平の青年時代	2003年	2,000円
開館15周年記念特別展 藤島武二と小磯良平展	2007年	1,800円
小磯良平 聖書のさしえ展	2008年	1,440円
あなたが選ぶ小磯良平作品選	2013年	800円
小磯良平ベストコレクション	2017年	1,000円
〈他作家など〉		
特別展 林重義 没後50年展	1994年	2,000円
特別展 田中忠雄 回顧展	1998年	2,000円
企画展 神戸の洋画・戦後の再出発展	1998年	800円

特別展	川西英と神戸の版画展	1999年	1,800円
特別展	川端謹次展	2000年	1,600円
特別展	田村孝之介と神戸	2000年	1,800円
特別展	明治・大正 神戸生まれの芸術家たち展	2001年	1,500円
特別展	岡田謙三展	2004年	1,800円
特別展	没後50年 内田巖展	2004年	2,000円
特別展	受贈記念 石阪春生展	2006年	2,000円
特別展	西村元三朗回顧展	2006年	1,800円
特別展	日本近代洋画への道	2007年	2,000円
特別展	近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	2008年	2,000円
特別展	小磯良平没後20年記念 子どものいる風景	2008年	1,800円
特別展	中西 勝 展	2009年	1,800円
特別展	没後35年 宮本三郎展	2009年	2,000円
特別展	画家 岸田劉生の軌跡	2010年	2,000円
特別展	古家新とゆかりの画家たち	2010年	1,800円
特別展	没後100年 大下藤次郎展 美しき自然、友人	2011年	1,700円
特別展	昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち	2011年	1,600円
特別展	マリー・ローランサンとその時代展	2012年	1,900円
特別展	自らを見つめる—画家と自画像	2013年	500円
特別展	関西学院の美術家	2013年	2,000円
特別展	新宮晋 地球の遊び方	2014年	1,500円
特別展	生誕120年 川西英回顧展	2014年	2,000円
美術館再開特別企画	コレクション再発見 小磯とゆかりの画家たち	2015年	700円
特別展	国立美術館巡回展 洋画の大樹が根付くまで	2015年	1,200円
特別展	野田弘志展—凍結する時	2015年	1,500円
特別展	日本近代洋画の巨匠 和田英作展	2016年	1,800円
特別展	パリに生きる パリを描く —M氏秘蔵コレクションによる—	2016年	1,500円
特別展	ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展	2017年	2,000円
特別展	生誕150年記念 藤島武二展	2017年	2,300円

2. 特別展の講演会と関連講座

特別展の際には、外部講師等による講演会と当館学芸員による関連講座を実施した。

■特別展「来て、見て、楽しむ！小磯良平ベストコレクション」（会期：平成29年7月15日～9月3日）

開催日	演 題	講 師	開 催 場 所	受講人数
8月11日 (金・祝)	関連講座 「サインで読み解く 小磯芸術の流れ」	小磯記念美術館学芸係長 廣田 生馬	美術館絵画学習室 (14時～15時)	28人

■特別展「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展」（会期：平成29年9月16日～11月12日）

開催日	演題	講師	開催場所	受講人数
10月29日（日）	「フランス近代美術入門」	小磯記念美術館館長 岡 泰正	美術館 絵画学習室 （14時～15時30分）	20人
11月3日 （金・祝）	関連講座 「藤田嗣治が描く女性像 ・その視線と指先」	小磯記念美術館学芸員 高橋 佳苗	美術館絵画学習室 （14時～15時）	60人

■特別展「生誕150年記念 藤島武二展」（会期：平成29年11月18日～平成30年1月28日）

開催日	演題	講師	開催場所	受講人数
11月23日（日）	「藤島武二と小磯良平」	小磯記念美術館学芸係長 廣田 生馬	美術館絵画学習室 （14時～15時30分）	31人
1月14日（日）	関連講座 「藤島武二と海景画」	小磯記念美術館学芸員 高橋 佳苗	美術館絵画学習室 （14時～15時）	30人

3. 解説会、ギャラリートツアーなど

1年間を通じて、開館中の日曜日の午後2時から、学芸員による解説会やギャラリートツアーを行っている。特別展の開催期間中は、2階絵画学習室においてスライドを使いながら展覧会の見どころを紹介する解説会やギャラリートツアーを行い、作品選のみの開催期間中は、展示室を巡りながら、作品を前にして解説するギャラリートツアー形式で開催した。

	特別展解説会	特別展ギャラリートツアー	作品選ギャラリートツアー
平成29年度	15回	6回	18回

4. オリエンテーション

団体やグループでの来館の場合、事前の申し込みによって、学芸員が15～20分程度のオリエンテーションを行っている。場所は美術館2階の絵画学習室あるいはハイビジョンギャラリーを使用する。また、展示室内でのオリエンテーションも適宜実施している。美術館の概要、あるいは展示作品の紹介（特別展を含む）など、内容は希望によって指定することもできる。

	利用団体数	利用人数
平成29年度	21組	延べ522人

5. 美術講座

多くの方々により一層美術館に親しんでいただくため、平成9年度より各年度の下半期で6回シリーズとなる美術講座を開催している。「六甲アイランドの美術館を楽しもう」をテーマに、近隣の美術館等のご協力をいただいて開催した。

開催日	演 題	講 師	受講人数
10月20日(金)	「西洋絵画の見方 Ⅲ —印象派を中心に—」	神戸市立小磯記念美術館 館長 岡 泰正	70人
11月24日(金)	「神戸ファッション美術館を楽しもう —装いからたどる歴史と文化—」	神戸ファッション美術館 学芸員 和田 かおり 氏	59人
12月15日(金)	「神戸コレクション展 よみがえった戦後風景の物語」	神戸ゆかりの美術館 学芸員 金井 紀子 氏	59人
1月19日(金)	「近代洋画の2大巨匠！ 藤島武二と黒田清輝」	神戸市立小磯記念美術館 学芸係長 廣田 生馬	62人
2月23日(金)	「最後の浮世絵師 月岡芳年が描いた野のもの」	神戸ファッション美術館 主査学芸員 浜田 久仁雄 氏	56人
3月16日(金)	「歌と楽器でたどる絵画のみかた —絵の中の“音”を“楽”しむ—」	神戸市立小磯記念美術館 学芸員 高橋 佳苗	49人

■開催場所：美術館 2F 絵画学習室

延べ 355人

6. 連携講座・出前講座等

開催日	演 題	講 師	会 場
4/23	びいどろの粋と美	当館館長 岡泰正	MIHO MUSEUM
8/8	小磯記念美術館の素敵な楽しみ方	当館学芸係長 廣田生馬	協同の苑
9/30	絵画で巡る近代神戸	当館学芸員 高橋佳苗	神戸市立博物館
10/17	小磯良平と西洋画家	当館学芸員 高橋佳苗	シルバーカレッジ (しあわせの村)
10/21	ユニマットコレクション展の楽しみ方	当館館長 岡泰正	六甲道勤労市民センター
10/31	小磯良平の植物画	当館担当係長 廣田生馬	六甲勤道労市民センター
12/3	藤島武二展を楽しむ	当館担当係長 廣田生馬	六甲道勤労市民センター
1/8	小磯良平の画業と西洋	当館館長 岡泰正	あかがねミュージアム
3/17	小磯記念美術館の素敵な楽しみ方	当館担当係長 廣田生馬	グランクオーレ (サービス付高齢者施設)

7. スタンプラリーの開催

今年度もリピーターの確実な確保に向けて、当館オリジナルでスタンプラリーを継続的に実施することとし、台紙を印刷・作製し、来館者に配付した。平成22年度から始め、8年目となる。

平成28年度に実施した5会期の展覧会をスタンプ押印の対象とした。このうちの3会期の展覧会にご来館・ご鑑賞いただいた方を対象に、平成30年度に開催するお好きな展覧会にご招待する企画である。会期毎にスタンプのデザインとスタンプインクの色にも工夫を凝らして、スタンプの押印そのものも楽しんでいただけるように配慮した。

<p>神戸市立小磯記念美術館 展覧会スタンプラリー</p>  <p>小磯良平 「白川屋」 1932年 油絵</p> <p>3つ以上のスタンプを集めると 2018年度の展覧会に1回ご招待。</p> <p>2017/4/29(土)～ 2018/4/15(日)</p>	<p>4/29(土・祝)～7/9(日)</p> <p>◆小磯良平作品展1 ◆新聞連載小磯陣絵画展 「遊動期」(三)【白川屋・妻】</p> <p>コレクション企画展 良泉から抽象へ</p>  <p>stamp</p>	 <p>小磯良平 「白川屋の娘」 1937年 油絵</p> <p>小磯良平をはじめとする画家たちが良泉 館蔵からいかに体系的な展開を構築した かを紹介します。</p>	<p>7/15(土)～9/3(日)</p> <p>特別展 神戸開港150年～開港25周年記念 まで、見て、楽しんで！ 小磯良平 ベストコレクション</p>  <p>stamp</p>	 <p>小磯良平 「この子おれ」 1948年 油絵</p> <p>当館を代表する小磯良平作品を全室にわたって展示し、その魅力をあらためて鑑賞します。また、展示のみ企画としてご家族で楽しむワークショップや美術講座を通じて、「小磯記念美術館」を良くとお楽しみいただけます。</p>	<p>開催時間 午前10時～午後5時 ※入館は開館の30分前まで</p> <p>休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日) 年末年始 (12/29～1/3) 展示期間 7/11～7/14 9/5～9/15 11/16～11/17 1/30～2/16</p> <p>アトリエ開放 毎日 午前11時～/午後2時～</p> <p>ロビーコンサート 毎月第3日曜日 午後2時～ ※要申し込み</p> <p>アクセス 六甲支線六甲駅南徒歩約7分 六甲ライナー「アインランド」北口下車 西へ徒歩すぐ(住吉駅から7分、東海岸から5分) ※美術館の地下に駐車場(無料)があります。</p> <p>〒658-0032 神戸市東灘区西津町中5丁目7 ☎ 078-857-5880 http://www.city.nobori.jp/kobocommuseum/</p>
--	--	--	--	--	--

8. RIC（六甲アイランドシティ）内3美術館連携事業

神戸市東灘区にある六甲アイランドシティには、神戸ゆかりの美術館・神戸ファッション美術館・神戸市立小磯記念美術館の3つの美術館が存在している。これまで継続的に月例での事務連絡会議を実施してきている。

9. 子供のための美術講座（美術館大作戦）

展覧会の開催にあわせて、美術館スタッフとともに作品を楽しみ、作品や美術館に親しむ機会をより広く提供するために企画・開催した。神戸大学大学院発達科学部勅使河原ゼミをはじめ、外部団体とも連携して行った。

また、29年度文化庁『地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業』として、“RICあそびば”を開催した。

	名称	回数	月日	対象	参加人数
1	美術館大作戦1 “お気に入りのフレームを作ろう”	1	4/29	4歳～中学生	19
2	美術館大作戦2 “豆本を作ろう”	1	5/20	4歳～中学生	22
3	美術館大作戦3 “スタンドグラスをつくろう”	1	6/17	4歳～中学生	34

4	美術館大作戦4 “ミニ美術館をつくろう”	2	7/29 8/26	小・中学生	50
5	美術館大作戦5 “ゆらゆらモビールをつくろう”	1	9/24	小・中学生	18
6	美術館大作戦6 “折りぞめをしよう”	1	10/8	4歳～中学生	21
7	美術館大作戦7 「RICあそ美ば ミニステンドグラスをつくろう」	1	10/14	幼児～一般	220
8	美術館大作戦8 「RICあそ美ば どんぐりマーケット」	1	10/15	幼児～一般	2,885
9	美術館大作戦9 “空色コレクション”	2	11/18	5歳～中学生	20
10	美術館大作戦10 “音色（おといろ） コレクション”	1	2/17	5歳～中学生	19
		11	延べ人数		3,308

協力（年間を通して）：神戸大学大学院人間発達環境学研究所 勅使河原ゼミ
神戸シルバーカレッジ美工0B 図工専科0B

■美術館大作戦1「お気に入りのフレームを作ろう」
（小磯良平作品選Ⅴ コレクション企画展示「具象から抽象へ」）

日 時：4月29日（土） 午後2時～

対 象：小・中学生

参加人数：19名

内 容：紙粘土でフレームを作って、自分の描いた絵を入れて飾った。



■美術館大作戦2「豆本を作ろう」
（小磯良平作品選Ⅴ コレクション企画展示「具象から抽象へ」）

日 時：5月20日（土） 午後2時～

対 象：小・中学生

参加人数：22名

内 容：小磯作品を鑑賞し、描かれた形や色のお気に入りを見つけ、自分なりのテーマを決めて「豆本」を作った。



■美術館大作戦3「ステンドグラスをつくろう」
(小磯良平作品選V コレクション企画展示「具象から抽象へ」)

日 時：6月17日(土) 午後2時～

対 象：小・中学生

参加人数：34名

内 容：田中忠雄の作品を鑑賞後、透明シートにカラーペンで好きな絵を描き、ステンドグラス風の作品を作った。



■美術館大作戦4「ミニ美術館をつくろう」
(特別展 来て見て楽しむ！小磯良平ベストコレクション)

日 時：7月29日(土) 8月26日(土) 午後2時～

対 象：小・中学生

参加人数：合計50名

内 容：お気に入りの絵を展示室でスケッチし、自作のミニ美術館の中に飾った。



■美術館大作戦5「ゆらゆらモビールをつくろう」
(特別展 「来て見て楽しむ！小磯良平ベストコレクション」)

日 時：9月24日(土) 午後2時～

対 象：小・中学生

参加人数：18名

内 容：ルネ・ラリックの作品を鑑賞し、お気に入りの形を見つけ、カラー透明シートなどを使って「モビール」を作った。



■美術館大作戦6「折りぞめをしよう」
RICあそ美ば オープニングイベントのプレイベントとして実施。

日 時：10月8日(土) 午後2時～

対 象：4歳～中学生

参加人数：21名

内 容：折った和紙を染料につけて広げると簡単に美しい模様ができる折り染め。たくさん染めて、「手帳」とあそ美ばの会場を飾る「ガーランド」を作った。



■美術館大作戦7 「ミニステンドグラスをつくろう」…R I Cあそ美ば1日目

日 時：10月14日(土) 午後2時～

対 象： 幼児～一般

参加人数： 220名

内 容：透明シートにカラーペンで好きな絵を描き、ステンドグラス風の作品を作った。



■美術館大作戦8 「どんぐりマーケット」…RICあそ美ば2日目

日 時：10月15日(日) 午前11時30分～16時30分

場 所：小磯記念美術館展示室・ロビー・美術館前広場

参加人数：のべ2885名

内 容：美術館、博物館、学校、図工専科OB、地域作家などが、21種類のワークショップやパフォーマンスを展開。参加者はどんぐりを通貨にして好きなワークショップに参加することができる。雨天にも関わらず美術館前が大勢の人々でにぎわった。



美術館前広場での「どんぐりマーケット」



ワークショップ「びっくりカメラ
“はい、ポーズ”」



松蔭女子学院大学生による書道
パフォーマンス

※R I C あそ美ばの概要

主 催：神戸の文化発信実行委員会

協 力：向洋小学校／六甲アイランド小学校／神戸大学／神戸松蔭女子

学院大学／神戸女子短期大学／向洋児童館／六甲道児童館／

東灘おもちゃ工作隊／六甲アイランドカップ実行委員会／連携ミュージアム／

ユープ神戸／六甲アイランド地域振興会／六甲アイランドCITY自治会

助 成：平成29年度文化庁「地域の核となる美術館・博物館支援事業」

■美術館大作戦9 「空色コレクション」 (特別展「藤島武二展」小磯良平作品選Ⅲ)

日 時：11月18日(土) 午後2時～

対 象：5歳～中学生

参加人数：20名

内 容：藤島武二作品に描かれた「空」を鑑賞したあと、絵の具のにじみを生かして空を描き、「空色コレクションブック」を作った。



■美術館大作戦10 「音色 (おといろ) コレクション」 (小磯良平作品選Ⅳ コレクション企画展示「絵の中の音を聞く」)

日 時：2月17日(土) 午後2時～

対 象：5歳～中学生

参加人数：合計19名

内 容：「絵の中の音を聞く」を鑑賞したあと、スチロール板を凹ませて作るひっかき版画で自分なりの「おといろ」を表した。



10. 大人のためのワークショップ

展覧会の開催にあわせて、作品や美術館に親しむ機会を子どもだけではなく、大人の方にも提供するために企画・開催した。

■大人のための美術講座「小磯良平のモチーフを描く」 (特別展「来て、見て、楽しむ！小磯良平ベストコレクション」)

日 時：7月17日（土）鉛筆デッサン
8月12日（土）水彩
8月31日（木）パステルまたはサンギューヌ
各回午後1時～5時

対 象：一般

参加人数：45名

講 師：楠森道剛氏（洋画家・一陽会会員）

内 容：小磯良平が実際に使っていたモチーフ（楽器や人形）を、
各回毎に画材を変えて描いた。



■小磯プレミアムナイト「夜の美術館で模写をしよう」

日 時：7月28日（金）
8月11日（金）
各回午後5時～7時

対 象：一般

参加人数：35名

講 師：楠森道剛氏（洋画家・一陽会会員）

内 容：夜間開館中の展示室でイーゼルなどを使用し、色鉛筆や鉛筆で
小磯良平作品の模写をした。



11. 学校との連携

	活用区分/学校の種類	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校	大学	学校数合計	参加者合計
美術館で利用	1：学校団体鑑賞	5	26	1	0	0	0	32	2643
	2：学校団体見学	0	1	0	0	1	5	7	133
	3：課外活動での利用	0	1	5	2	0	10	17	371
学校で利用	4：出張授業（授業回数）	1	15	0	0	0	2	18	1258
	5：あそ美ば協力校	0	2	0	0	0	0	2	1938
	6：教材開発・研修利用	0	10	5	0	0	0	15	28
	計	6	54	11	2	1	17	91	5253

■団体鑑賞

〈小磯良平作品選Ⅰ〉

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	5月2日	西脇小学校	5	2	53
2	5月13日	甲南女子大学		1	17
3	5月27日	甲南大学		2	41
4	6月1日	カナディアンアカデミー		1	15
5	6月2日	伊丹市立南中学校	1	6	226
6	6月9日	福住小学校	4	3	90
7	6月15日	塩屋北小学校	5	2	67
8	6月16日	高倉台小学校	5	2	69
9	6月21日	神戸女子大 学校教育学専攻科		1	2
10	6月27日	明親小学校	5	3	100
11	6月28日	住吉中学校	1～3	1	5
12	6月30日	会下山小学校	4	3	91
13	7月2日	神戸大学 発達科学部		2	62
計				29	838

〈特別展 来て、見て、楽しむ！小磯良平ベストコレクション〉

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	7月20日	御影北小学校	6	4	134
2	7月25日	神戸シルバーカレッジ	1	2	36
3	7月27日	西宮市立大社中学校 美術部	1～3	1	26
4	7月27日	西代中学校 美術部	1～3	1	16
5	8月1日	兵庫県立須磨東高等学校 美術部	1～3	1	5
6	8月4日	豊岡市立出石中学校 美術部	1～3	1	16
7	8月23日	親和女子中学校 美術部	1～3	1	3
8	8月23日	親和女子高等学校 美術部	1～3	1	7
計				12	243

〈特別展 フランス近代絵画と珠玉のラリック展〉

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	10月3日	幼保連携型認定こども園 夢	5歳	1	27
2	10月4日	櫻野台小学校	4	2	67
3	10月6日	若宮小学校	3	2	43
4	10月19日	本山南小学校	4	3	87
5	10月20日	宮川小学校	4	2	47
6	11月2日	関西学院大学大学院文学研究科		1	7
計				11	278

〈特別展 生誕150年記念 藤島武二展〉

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	11月21日	六甲アイランド小学校	4	2	46
2	11月24日	六甲アイランド小学校	5	2	55
3	11月28日	西郷小学校	3	3	86
4	11月30日	六甲アイランド小学校	2	2	52
5	12月1日	高羽小学校	5	2	104
6	12月5日	高羽小学校	5	3	69
7	12月7日	東垂水小学校	4	2	43
8	12月8日	カナディアンアカデミー		1	15
9	12月8日	ひよどり台幼稚園	5歳	2	54
10	12月13日	魚崎幼稚園	5歳	3	63
11	12月14日	カナディアンアカデミー		1	9
12	12月14日	御影小学校	4	4	116
13	12月15日	灘すずかけ幼稚園	5歳	2	62
14	12月19日	花山小学校	6	3	86
15	12月21日	福池小学校	5	4	129
16	1月17日	神戸婦人大学		2	58
17	1月18日	住吉幼稚園	4,5歳	2	28
18	1月23日	カナディアンアカデミー		1	31
19	1月25日	カナディアンアカデミー		1	15
20	1月25日	兵庫大開小学校	5	3	112
計				29	1233

〈絵の中の音を聞く〉

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	2月20日	神戸大学	2	1	14
2	2月21日	本山第一小学校	4	4	128
3	3月2日	京都市立宇多野小学校	6	3	78
4	3月4日	京都造形芸術大学通信教育部 大阪クラブ		1	25
5	3月6日	向洋小学校	1	2	73
6	3月7日	向洋小学校	1	3	89
7	3月13日	向洋小学校	3	3	112
8	3月14日	本山中学校 グループ活動	1	1	12
計				12	531

■子供のための鑑賞ガイド（特別展）

特別展の開催に合わせ、展覧会場のセルフガイドを兼ねて、学校での展覧会紹介や鑑賞学習に活用できるようなガイドを作成。

○特別展「来て、見て、楽しむ！小磯良平ベストコレクション」

スケッチパッド

○特別展「藤島武二展」

■教員のための研修講座

○来館研修

10月14日（土）先生のためのミュージアム活用術研修

○出張研修

7月11日（火）神戸市小学校研修会図工部 Cグループ研修会（向洋小学校）

1月26日（木）神戸っこアートフェスティバル幼稚園研修（兵庫県立美術館）

○ミュージアムエデュケーション研究会2017

・平成29年度文化庁『地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業』

・主催：神戸の文化発信実行委員会

・協力：神戸市立小磯記念美術館、神戸市立博物館、神戸ゆかりの美術館、

明石市立文化博物館、芦屋市立美術博物館、神戸アートビレッジセンター、神戸ファッション美術館、竹中太工道具館、兵庫県立美術館、BBプラザ美術館、横尾忠則現代美術館、西宮市立大谷記念美術館

※協力各館は、館の特徴を活かして考案された多彩なテーマで、参加者と共に学びあった。会の開催運営は連携館全体で役割分担をして行った。

開催日時	施設名	講座名
9/30	明石市立文化博物館	作品画像を活用した美術鑑賞～どこでも美術体験をしよう～
10/14	神戸市立小磯記念美術館	「マーブリングのランプシェードづくり」
10/28	横尾忠則現代美術館	繰り返しと重なり—版画を通して横尾作品を体験する
11/11	西宮市大谷記念美術館	美術館を楽しむことを考えるワークショップ
12/2	神戸ファッション美術館	大地の力 土(はに)染め
12/17	BBプラザ美術館	アート入門：ようこそ！2000年後の世界へ
12/26	兵庫県立美術館	美術館での学びを考えてみよう！
1/14	芦屋市立美術博物館	ディスカッション「美術と音」
1/27	神戸市立博物館	本格的な版木を使った浮世絵摺り体験
2/3	神戸アートビレッジセンター	炭とパンで絵を描こう！

■トライやるウィーク <受け入れ生徒数 17名>

5月30日（火）～6月2日（金）	市立星和台中学校	1名
	市立本庄中学校	2名
6月6日（火）～6月9日（金）	市立渚中学校	5名
11月8日（火）～11月11日（金）	市立湊湘南中学校	1名
	市立本山中学校	1名
	市立向洋中学校	1名
	市立烏帽子中学校	1名
	市立西落合中学校	1名
	市立葺合中学校	1名
11月15日（火）～11月18日（金）	市立鷹匠中学校	3名

ポスター・チラシなどの広報印刷物の発送、文献資料室や倉庫の整理などの裏方の仕事、展覧会監視員、アトリエでの解説、受付やショップなど来館者との接する仕事、記録紙交換や収蔵庫・収蔵庫の清掃など学芸員の補助など、美術館内のさまざまな業務を体験。



倉庫の整理



美術館の受付

12. マンスリーコンサート

28年度より引き続き、学芸員と音楽プロデューサーによるトークショーとクラシック音楽の生演奏によるマンスリーコンサートを毎月第3日曜日に定例的に開催。

演奏は、女子弦楽アンサンブルBloom Quartet & Ensemble KANSAI、声楽トリオ ソプラノデュオ Museplus、フルートデュオ&アンサンブルEpicusなど

平成29年4月16日（日）	〔小磯作品〕 第25回神戸みなとの祭ポスター原画 〔演 奏〕 三田智美(Flute)、松岡千聖(Flute)
5月21日（日）	〔小磯作品〕 婦人像 〔演 奏〕 十鳥可奈子(Soprano)、藤本さえ子(Piano)
6月18日（日）	〔小磯作品〕 自画像 〔演 奏〕 小林加奈(Violin)、鷺尾有香(Flute)、藤本さえ子(Piano)
7月16日（日）	〔小磯作品〕 かぼちやのある静物 〔演 奏〕 鷺尾有香(Flute)、服部彩恵(Flute)
8月20日（日）	〔小磯作品〕 レッスン 〔演 奏〕 白石優香(Violin)、新林れん(Piano)
9月17日（日）	〔小磯作品〕 森 〔演 奏〕 北川聖香(Flute)、久津那綾香(Violin)、 福田紘子(Viola)、島田瑠萌(Cello)
10月15日（日）	〔小磯作品〕 二人裸婦 〔演 奏〕 陶器香帆(Flute)、島田瑠萌(Cello)、大谷絢子(Piano)
11月19日（日）	〔小磯作品〕 ビルマの人 〔演 奏〕 白石優香(Violin)、内藤菜穂子(Piano)
12月17日（日）	〔小磯作品〕 神戸風景 〔演 奏〕 柏山恵菜(Soprano)、藤本さえ子(Piano)
平成30年1月21日（日）	〔小磯作品〕 ブルターニュ・ソーゾン港 〔演 奏〕 島田瑠偉萌(Cello)、藤本さえ子(Piano)
2月18日（日）	〔小磯作品〕 バイオリンを弾く女&中島節子作 トリオ 〔演 奏〕 加茂夏樹(Violin)、島田瑠萌(Cello)、新林れん(Piano)
3月18日（日）	〔小磯作品〕 小磯記念美術館作品における超絶技巧の謎を探る 〔演 奏〕 武田千奈津(Violin)、加藤菜生(Cello)、藤本さえ子(Piano)

■参加人数

月 日	4月16日	5月21日	6月18日	7月16日	8月20日	9月17日
観客数	55人	82人	104人	125人	105人	81人

月 日	10月15日	11月19日	12月17日	1月21日	2月18日	3月18日	合 計
観客数	105人	121人	131人	225人	148人	124人	1,282人

13. ハイビジョンギャラリー

110インチのハイビジョン（1.37×2.44m）で、当館が作成したオリジナル番組を上映している（11:30～15:30）。

全41席。現在は土曜日、日曜日、祝日のみに限定して上映している。

【上映オリジナルソフト】

「小磯記念美術館」「小磯良平 人と芸術」「小磯良平の版画」「小磯良平 若き日の出会い」
「小磯良平 画業を語る」「所蔵作品に見る小磯良平 油彩Ⅰ」「所蔵作品に見る小磯良平 油彩Ⅱ」
「小磯良平 人物画の世界」「小磯良平 風景画・静物画の世界」「六甲アイランド」

14. 図書コーナー、ミュージアムショップ

図書コーナーでは、来館者が自由に画集や美術雑誌を閲覧することができる。

また、ミュージアムショップでは、小磯良平作品を中心とした当館オリジナルのミュージアムグッズや当館開催の展覧会図録などを販売している。

15. ミュージアムカード（定期券）

何度でも美術館を訪れたいというリピーターの方のために、ミュージアムカードを発行している。

有効期間は1年間で、特別展・収蔵作品選を問わず、いつでも入館できる。

会員には展覧会案内、美術館だよりなどを送付している。

大人1,500円、高大生1,100円、小中生750円（価格は平成30年3月末現在）。

16. 事業一覧 平成29年度 (2017)

6. 平成29年度 (2017年4月～2018年3月) 展覧会一覧

	展示室 1	展示室 2	展示室 3
4月	小磯良平作品選Ⅴ -油彩-	コレクション企画展示 「画家の“仕事”」 3/4 (土)～4/23 (日) (24+20日間)	
5月	小磯良平作品選Ⅰ -油彩-	新聞小説挿絵原画展 「適齡期」(三) 【白川渥・著】 4/29 (土・祝)～7/9 (日) (62日間)	コレクション企画展示 「具象から抽象へ」
6月			
7月	神戸開港150年・開館25周年記念 特別展「来て、見て、楽しむ！小磯良平ベストコレクション」 7/15 (土)～9/3 (日) (44日間)		
8月			
9月	小磯良平作品選Ⅱ -油彩-	神戸開港150年・開館25周年記念 特別展「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展ーやすらぎの美を求めて」 9/16 (土)～11/12 (日) (50日間)	
10月			
11月	小磯良平作品選Ⅲ -油彩-	神戸開港150年・開館25周年記念 特別展「生誕150周年記念 藤島武二展」 11/18 (土)～1/28 (日) (57日間)	
12月			
1月	小磯良平作品選Ⅳ -油彩-	コレクション企画展示 「絵の中の音を聞く」 2/17 (土)～4/15 (日) (37+13日間)	
2月			
3月			
4月			

Ⅲ. アトリエ

小磯良平が昭和24年（1949）に武庫郡住吉村字松本（現・神戸市東灘区住吉山手4丁目）に建てた木造2階建てのアトリエを、当美術館の中庭に移築・復元している。アトリエの内部には、画家が使用したイーゼルやパレット、モチーフとなった楽器や人形、家具などを展示して、アトリエでの当時の小磯の作品制作の状況を想像できるような雰囲気を作り出している。また、アトリエに関する解説や写真パネルも展示している。

毎開館日の午前・午後の各1回、アトリエ内でインフォメーション・スタッフによる小磯良平の解説会を行っている。



中庭に移築・復元されたアトリエ



アトリエ内部

IV. 収蔵資料

1. 収集年度別 所蔵作品累計

作者別	年度 資料の技法・ 材質	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	合計	
		小磯良平	油 彩	90	1	3	17	3	4		6	3	5	1	3	1	1		3			1		1	8		1					1
フレスコ										1																					1	
水彩・素描	347			1	54	1	1		60	1	2	4	1		1		1					3		1	1				2		1	482
版 画	204																											1				205
挿絵原画	1,453			70				125													5	7				343						2,003
その他（彫刻・陶器など）								4	2			1																2			10	19
小 計	2,094	1	74	71	4	5	129	68	5	7	6	4	1	2	0	4	0	0	6	10	1	9	1	344	0	6	0	0	12	2,864		
他 作 家	油 彩		1	36	18	10	20	11	8	6	3	8	3	2		18		37	2		1	1	3	6	3					1	198	
	フレスコ				1	1	12				4					1	13	7	5	2			5			3					54	
	版 画											6			2																	8
	挿絵原画										1																					1
	その他（彫刻・陶器など）			2					2		12	1	1	1					11													30
	小 計		1	38	19	11	32	11	10	6	20	15	4	3	3	31	7	53	2	2	1	1	1	8	6	3	3	0	0	0	1	291
年度別 合計	2,094	2	112	90	15	37	140	78	11	27	21	8	4	5	31	11	53	2	8	11	2	17	7	347	3	6	0	0	13	3,155		

*この所蔵作品点数は、収蔵の経緯が購入・寄贈・保管転換の作品を対象としている（寄託は含まれない）。

2. 平成29年度 収集作品数

作者別	内訳 資料の技法・材質	購 入	寄 贈	保管転換	合 計
		小磯良平	油 彩		
フレスコ					
水彩・素描				1	1
版 画					
挿絵原画					
その他（彫刻・陶器など）				10	10
小 計		0	12	0	12
他 作 家	油 彩			1	1
	水彩・素描				
	版 画				
	挿絵原画				
	その他（彫刻・陶器など）				
	小 計		0	0	1
合 計		0	0	0	0

3. 平成29年度 新収蔵作品・資料

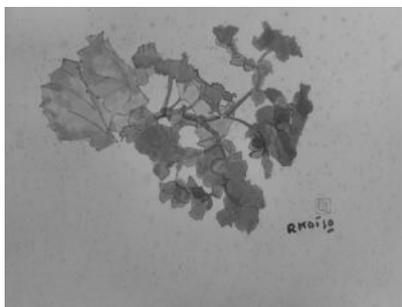
①小磯良平《兵士》制作年不詳 鉛筆・紙 63.1×47.8cm



②小磯良平《静物》1917-22年頃 油彩・板 23.5×33.2cm



③小磯良平《藤田巖氏追悼集用色紙》1979年頃 水彩・色紙 31.7×40.8cm



④小磯良平《絵付け皿》1956年 径23.7 高4.2

⑤小磯良平《絵付け皿》年不詳 径23.8 高4.3

⑥小磯良平《絵付け皿》年不詳 径12.4 高2.3

⑦小磯良平《絵付け皿》1954年 径24.5 高4.3

⑧小磯良平《絵付け皿》1953年 径19.0 高3.2

⑨小磯良平《絵付け皿》1939年 径22.2 高2.2

⑩小磯良平《絵付け皿》年不詳 径14.8 高4.2

⑪小磯良平《絵付け皿》年不詳 径23.8 高4.3

⑫小磯良平《絵付け皿》年不詳 径17.7 高2.2

⑬中西勝《華・花と月》2004年 油彩・キャンバス 44.5×36.0cm

4. 館外貸出

久留米市美術館	「川端康成 美と文学の森」	久留米市美術館 平成29年4月1日～5月21日	小磯良平	「古都」挿絵原画 第9回春の花(九) 1961年 「古都」挿絵原画 第31回きものの町(八) 1961年 「古都」挿絵原画 第37回北山杉(一) 1961年 「古都」挿絵原画 第44回北山杉(八) 1961年 「古都」挿絵原画 第48回祇園祭り(一) 1961年 「古都」挿絵原画 第68回秋の色(八) 1961年 「古都」挿絵原画 第107回冬の花(十二) 1962年 合計7点
神戸ゆかりの美術館	「アカデミー・バーの壁画を描いた作家たち」	神戸ゆかりの美術館 平成29年4月8日～6月25日	小磯良平	油彩： 《母子》 1943年 《裸婦》 1946年頃 《椅子に寄る裸婦》 1947年 《婦人》 1947年頃 《二人の女》 1955年 フレスコ： 《鳩と婦人》 1959年
			伊藤継郎	油彩： 《インドの人々》 1965年 《寺院と尼僧達》 1968年 《アトリエの女》 制作年不詳 《イギリスの老人達》 1968～70年頃
			田村孝之介	油彩： 《N嬢の像》 1932年 《二人の裸婦》 1957年
			竹中郁	油彩： 《アトリエにて》 1951年
			合計13点	
新居浜市美術館	「—新居浜美術の新時代と住友—小磯良平・オリゾン洋画研究所再考」	新居浜市美術館 平成29年12月9日～平成30年1月21日	小磯良平	油彩： 《自画像》 1926年 《裸婦》 1950年頃 《母子像》 1953年 《音楽》 1954年 《働く人》 1959年 《働く人びと》 1953年 寄託品 素描： 《働く人・男の休息》 1953年 《働く人・レンガを積む男》 1953年 挿絵原画： 「適齢期」第1回 鷹(一) 1966年 「適齢期」第7回 鷹(七) 1966年 「適齢期」第17回 塔の灯(三) 1966年 「適齢期」第21回 塔の灯(七) 1966年 「適齢期」第32回 道草(四) 1966年 「適齢期」第34回 道草(六) 1966年 「適齢期」第36回 悪日(一) 1966年 「適齢期」第39回 悪日(四) 1966年 「適齢期」第54回 秋花(五) 1967年 「適齢期」第55回 秋花(六) 1967年 「適齢期」第56回 秋花(七) 1967年 「適齢期」第58回 獣(二) 1967年 「適齢期」第59回 獣(三) 1967年 「適齢期」第65回 駄句(二) 1967年 「適齢期」第75回 残り花(五) 1967年 「適齢期」第79回 夜鳥(二) 1967年 「適齢期」第81回 夜鳥(四) 1967年 「適齢期」第104回 土佐みやげ(六) 1967年 「適齢期」第115回 夜の客(三) 1967年 「適齢期」第118回 夜の客(六) 1967年 「適齢期」第126回 夕雲(七) 1967年 「適齢期」第130回 ダッシュ(四) 1967年
			合計30点	

5. 特別利用

項目	年度	5年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		14年度		15年度	
		(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)								
熟覧		1	1			2	3	1	3	1	2	1	1	1	1			1	1				
模写																							
模造								1	2	2	3	2	4	1	4	1	1						
写真撮影								1	1			1	1	1	1								
映画・テレビ撮影		3	20			22	59			1	9	2	16	2	19	1	1	3	11	3	18		
写真掲載		9	19	13	25	22	57	16	99	12	60	12	38	13	29	17	50	11	89	7	41	5	100
原版使用		6	12	12	26	1	4	17	104	15	65	14	27	15	31	16	49	12	91	6	36	5	100
紙焼付与		3	7																	1	5		
その他														1	2	2	2						
計		22	59	25	51	47	123	36	209	31	139	32	87	34	87	37	103	27	192	17	100	10	200

項目	年度	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
		(件)	(点)																				
熟覧		3	27	3	4	7	7			1	2	3	40	1	1	2	5			2	3	1	2
模写																							
模造				1	1	1	1	1	3	1	6				1	1							
写真撮影								1	1					1	14					4	8		
映画・テレビ撮影				38	41	21	21	3	22	2	5					2	4	2	31	2	2		
写真掲載		10	31	7	7	41	41	10	43	5	39	12	25	10	75	8	14	17	34	6	12	7	27
原版使用		7	17	63	72	42	42	10	40	5	628	11	28	9	60	10	16	17	34	2	4	4	13
紙焼付与		1	6	13	13																		
その他				1	1			1	1					2	8	1	2					2	3
計		21	81	125	138	112	112	26	108	14	677	27	99	23	158	24	42	36	99	16	29	14	45

項目	年度	27年度		28年度		29年度	
		(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)
熟覧				3	17	1	9
模写							
模造							
写真撮影				2	2	1	9
映画・テレビ撮影		1	1				
写真掲載		5	5	12	23	3	4
原版使用		2	2	12	23	4	5
紙焼付与							
その他							
計		8	8	29	65	29	27

V. 予算

(単位：千円)

年度 内訳	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
資料購入費	280,000	280,000	0	200,000	150,000	150,000	120,000	100,000	75,000	31,500	30,000	60,000
資料整理費	36,396	17,018	17,865	16,012	14,219	12,279	11,707	10,675	10,675	10,675	6,728	5,908
展覧会開催費	52,332	35,506	5,091	28,004	44,940	32,791	34,699	51,110	35,547	36,075	35,968	24,924
普及事業費等	29,423	30,989	26,782	25,883	23,057	22,123	20,967	16,262	12,394	12,396	5,156	2,523
管理運営費	123,905	130,848	128,733	123,537	124,045	126,694	117,515	114,305	112,056	109,947	98,875	91,157
アートファンド (美術品取得 基金造成)	80,020	51,800	34,900	0								
開館準備費												
合計	602,076	546,161	213,371	393,436	356,261	343,887	304,888	292,352	245,672	200,593	176,727	184,512

年度 内訳	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料整理費	5,493	5,191	4,920	4,470	3,823	3,129	3,129	3,082	2,537	2,823	2,863	1,776	2,220
展覧会開催費	29,795	32,499	25,061	37,406	21,144	22,324	21,397	33,839	31,263	35,710	29,607	30,891	32,421
普及事業費等	1,850	1,677	1,540	1,390	3,686	5,454	6,453	793	719	821	979	866	695
管理運営費	78,832	77,649	67,159	66,455	68,301	68,956	67,070	65,215	66,216	63,281	68,179	61,612	57,732
アートファンド (美術品取得 基金造成)													
開館準備費													
合計	115,970	117,016	98,680	109,721	96,954	99,863	98,049	102,929	100,735	102,635	101,628	95,145	93,068

災害復旧 工事費	8,571	57,563
-------------	-------	--------

VI. 入館者数

1. 月別入館者数

年度	月別	開館日	入館者総数	有料・無料内訳		階層別内訳			一日平均入館者数
				有料	無料	一般	大学生高校生	中学生小学生	
平成29年度	4月	22	1,913	778	1,135	1,831	17	65	87
	5月	26	1,529	875	654	1,398	29	102	59
	6月	26	2,132	983	1,149	1,388	23	721	82
	7月	22	2,204	1,212	992	1,774	94	336	100
	8月	27	3,356	1,632	1,724	3,016	76	264	124
	9月	16	2,689	1,383	1,306	2,583	36	70	168
	10月	24	4,895	1,883	3,012	4,317	43	535	204
	11月	22	5,567	2,188	3,379	5,190	33	344	253
	12月	24	3,350	1,351	1,999	2,555	14	781	140
	1月	22	5,637	2,433	3,204	5,355	47	235	256
	2月	10	846	377	469	677	25	144	85
	3月	27	2,101	994	1,107	1,656	35	410	78
合計		268	36,219	16,089	20,130	31,740	472	4,007	135

2. 展覧会別入館者数

区分	入館料	入館者数	特別展「来て、見て、楽しむ！小磯良平ベストコレクション」		特別展「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展—やすらぎの美を求めて—」		特別展「生誕150周年記念 藤島武二展」		入館料	入館者数	入館者数
			入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館料	入館者数			
有料	200円	1,390	500円	1,199	800円	801	800円	1,677	200円	1,100	6,167
団体	160円		400円		600円	110	600円	67	160円	0	177
一般割引	160円	396	400円	960	600円	2,496	600円	1,772	160円	408	6,032
同席			400円	338	400円	765	400円	800			1,903
合計		1,786		2,497		4,172		4,316		1,508	14,279
大学生(常設展は大学生)	150円	62	350円	52	600円	36	600円	43	150円	47	240
団体	120円	62	250円		400円		400円		120円	0	62
割引	120円	4	250円	11	400円	46	400円	4	120円	5	70
合計		128		63		82		47		52	372
高校生	150円		250円	26	600円	7	600円	24	150円		57
団体	120円		150円	0	400円	0	400円	0	120円		0
割引	120円		150円	5	400円	4	400円	1	120円		10
合計		0		31		11		25		0	67
中学生	100円	12	200円	78	400円	12	400円	15	100円	7	124
団体	70円	226	100円		200円		200円	31	70円	78	335
割引	70円		100円	28	200円	14	200円	3	70円	2	47
合計		238		106		26		49		87	506
小計		2,152		2,697		4,291		4,437		1,647	15,224
ミュージアムカード		74		84		133		164		100	555
有料合計		2,226		2,781		4,424		4,601		1,747	15,779
無料		2,253		2,928		6,150		6,223		2,298	19,852
総合計		4,479		5,709		10,574		10,824		4,045	35,631
一日平均入館者数		72		130		211		190		81	135

*特別展は、高校生料金あり。常設展は、高校生は大学生欄に含む。

VII. 関係法規

神戸市立小磯記念美術館条例（平成4年3月31日 条例第50号）

（設置）

第1条 美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示して教育的配慮の下に市民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うことを目的として、神戸市立小磯記念美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

（位置）

第2条 美術館は、神戸市東灘区向洋町中5丁目7番地に置く。

（事業）

第3条 美術館は、第1条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する文献、複製等の資料（以下「美術館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術館資料に関する専門的かつ技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の美術館、学校その他の関連機関と連絡し、及び協力すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業

（入館料等）

第4条 美術館に入館しようとする者は、別表に定める額の入館料を納付しなければならない。ただし、特別に展示を行う場合の入館料は、2,000円の範囲内で教育委員会が定める。

- 2 教育委員会は、美術館の入館について、定期券その他の教育委員会規則で定める特別入館券を発行することができる。
- 3 前項の特別入館券の料金は、4,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

（入館料の納付）

第5条 入館料（前条第3項の料金を含む。次条、第7条及び第12条第1項第3号において同じ。）は、前納しなければならない。ただし、教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、この限りでない。

（入館料の減免）

第6条 教育委員会は、教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

（入館料の返還）

既納の入館料は、返還しない。ただし、教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、その全部又は一部を返還することができる。

（特別利用）

第8条 美術館資料の熟覧、模写、撮影等しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより教育委員会の許可を受けなければならない。

（入館の制限等）

教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は美術館の施設、設備、美術館資料を汚損し、損傷し、若しくは滅失するおそれがあると認められる者
- (2) 美術館の管理上必要な指示に従わない者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が支障があると認める者

（損害の賠償等）

第10条 入館者は、美術館の施設、設備、美術館資料等を汚損

し、損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又その損害を賠償しなければならない。

（美術館協議会）

第11条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定に基づき、美術館に神戸市立小磯記念美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者その他教育委員会が適当であると認める者の中から教育委員会が委嘱する。

3 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に規定するもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（指定管理者の指定等）

第12条 教育委員会は、次に掲げる美術館の管理に関する業務を美術館管理について地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による教育委員会の指定を受けたもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

- (1) 第3条に規定する事業に係る業務
- (2) 美術館の利用及びその制限に関する業務
- (3) 美術館の入館料の徴収、減額、免除及び返還に関する業務
- (4) 美術館の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が定める業務

2 教育委員会は、指定管理者の指定をし、又はその取り消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

3 指定管理者に第1項の業務を行わせている場合における第6条、第8条及び第9条の規定の適用については、第6条中「教育委員会は」とあるのは「第12条第1項に規定する指定管理者は」と、第8条中「教育委員会の」とあるのは「第12条第1項に規定する指定管理者の」と、第9条中「教育委員会」とあるのは「第12条第1項に規定する指定管理者」とする。

（施行細目の委任）

第13条 美術館の休館日及び開館時間その他この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。（平成4年7月21日教委規則第2号により平成4年11月3日から施行）

附則

（平成16年7月20日条例第13号）抄

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附則（平成24年3月30日条例第56号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

区分	入館料（1人1回につき）	
	個人利用	団体利用 （30人以上）
小学生・中学生	100円	70円
高校生・大学生	150円	120円
一般	200円	160円

神戸市立小磯記念美術館条例施行規則 (平成4年7月21日 教委規則第1号)

(趣旨)

第1条 この規則は、神戸市立小磯記念美術館条例(平成4年3月条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 神戸市立小磯記念美術館(以下「館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律178号)に規定する休日(以下「休日」という。)と重なる場合は、その翌日を休館日とする。

(2) 休日の翌日。ただし、休日の翌日が日曜日又は休日と重なる場合は除く。

(3) 年末年始(12月29日から1月3日まで)

2 教育長は、特に必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館日を変更し、又は設けることができる。

(開館時間等)

第3条 開館時間は、午前10時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育長は、特に必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館時間及び入館時間を変更することができる。

(特別に展示を行う場合の入館料)

第4条 条例第4条第1項ただし書に規定する入館料は、その都度教育長が定める。

第5条 条例第4条第2項に規定する特別入館券は、次に掲げるものとする。

- 1) 定期券
- 2) 優待券
- 3) 招待券
- 4) 前売券

2 定期券は、次の表に掲げる定期入館料を納めた者に対して、発行するものとし、有効期限は、発行の日の属する月の翌月1日から1年を経過した日までとする。

区分	定期入館料
小学生・中学生	750円
高校生・大学生	1,100円
一般	1,500円

3 定期券は、定期券に記名された者以外の者は、使用することができない。

4 定期券は再発行しない。

5 優待券及び招待券は、教育長が事業上特別の理由があると認める者に対して、発行するものとし、その料金は無料とする。

(入館料の徴収)

第6条 入館料は、様式第1号による個人入館券又は様式第2号による団体入館券の発行により徴収する。

2 定期入館料は、様式第3号による定期券申込書に基づいて交付する様式第4号による定期券の発行により徴収する。

3 教育長は、特に必要と認めるときは、前2項に規定する入館券及び定期券に代えて別の様式を定め、これにより入館料を徴収することができる。

4 条例第5条ただし書に規定する教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

(1) 国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体の職員が公の目的で入館するとき。

(2) 国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体がその事業として入館するとき。

(3) 教育長が特に必要があると認めるとき。

(入館料の減免)

第7条 条例第6条に規定する特別の理由があるときは、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるところにより、入館料を減額し、又は免除する。ただし、特別に展示を行うときの減額額は、その都度教育長が定める。

(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する市内の小学校の児童又は中学校の生徒が教育上の目的のために教職員に引率されて入館するとき。 免除

(2) 学校教育法第1条に規定する特別支援学校の児童又は生徒が教育上の目的のために教職員に引率されて入館するとき。 免除

(3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳、療育手帳、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保険福祉手帳、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害医療受給者証又は小児慢性特定疾患承認書の交付を受けている者が入館するとき。 免除

(4) 身体障害者福祉法施行規則(昭和25年厚生省令第15号)第7条に規定する一級若しくは二級の身体障害者又は療育手帳若しくは精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行令(昭和25年政令第155号)第6条に規定する一級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の介護人が入館するとき。 免除

(5) 学校教育法第1条に規定する学校の教職員が、教育上の目的のため園児、児童、生徒又は学生を引率して入館するとき。 免除

(6) 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第39条に規定する保育所の職員が教育上の目的のために幼児を引率して入館するとき。 免除

(7) 神戸市老人福祉手帳の交付を受けている者が入館するとき。 免除

(8) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき。 教育長が必要と認める額の減額

(入館料の減免申請等)

入館料の減免を受けようとする者は、あらかじめ様式第5号による入館申込書兼入館料減免申請書を教育長に提出しなければならない。

2 前項の規定により減免したときは、様式第6号による入館申込書兼入館料減免通知書を交付する。

3 前2項の規定は、前条第3号、第4号又は第6号に該当する者には適用しない。ただし、前条第3号又は第6号に該当する者は、入館の際に同号に規定する当該手帳を提示しなければならない。

(入館料の返還)

第9条 条例第7条に規定する特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

(1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰すことのできない理由により入館できないとき。

- (2) 管理運営上の都合により入館できないとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育長が必要と認めるとき。
- 2 入館料の返還額については、教育長が別に定める。

(特別利用の許可申請等)

第10条 条例第8条の規定に基づき、美術館資料（以下「資料」という。）の特別利用をしようとする者は、あらかじめ様式第7号による特別利用許可申請書を教育長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 教育長は、前項の規定により特別利用を許可したときは、様式第8号による特別利用許可書を交付する。

3 特別利用は、館内の所定の場所において係員の指示に従って行わなければならない。

4 他の美術館、図書館、研究所その他教育長が適当と認めるものは、前項の規定にかかわらず、資料の館外貸出しを受けることができる。

5 前項の規定による館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ様式第9号による館外貸出許可申請書を教育長に提出し、その許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとするときも同様とする。

6 前項の規定により許可したときは、様式第10号による館外貸出許可書を交付する。

7 教育長は、第1項及び第5項に規定する許可に必要な条件を付すことができる。

(特別利用の制限)

第11条 次の各号のいずれかに該当するときは、特別利用を許可しない。

(1) 特別利用によって資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。

(2) 現に資料が展示されているとき。

(3) 寄託された資料で寄託者の同意を得ていないとき。

(4) 著作権者がある資料で、著作権者の同意を得ていないとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特別利用をすることを不適当と認めるとき。

2 資料の館外貸出しの期間は、3月以内とする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、この限りではない。

3 教育長は、館の都合により必要があるときは、資料の貸出期間中であっても当該資料の返還を求めることができる。

4 教育長は、特別利用の許可を受けた者が、許可条件に違反したとき又は違反するおそれがあると認められるときは、特別利用許可を取り消しし、利用の停止又は返還を命じることができる。

(損害の賠償等)

第12条 特別利用の許可を受けた者は、館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、速やかに教育長に届け出てその指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(損傷の届出等)

第13条 入館者は、館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その旨を係員に届け出て、その指示に従わねばならない。

(入館者の遵守事項)

第14条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示資料に触れないこと。
- (2) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。

(4) 前3号に掲げるもののほか、係員の指示に従うこと。

(販売行為等の禁止)

第15条 入館者は、館において、物品その他の物を販売し、又は金品の寄附募集等を行い、若しくは行わせてはならない。ただし、教育長の承認を受けた場合はこの限りでない。

(協議会の会長及び副会長)

第16条 条例第11条に規定する神戸市立小磯記念美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 会長及び副会長の任期は、委員としての在任期間とする。ただし、再任を妨げない。

4 会長は、協議会の議事その他の会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第17条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて小磯記念美術館長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係職員の出席等)

第18条 会長は、会議において関係職員の説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(施行細目の委任)

第19条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成4年11月3日から施行する。

附 則（平8. 3. 29教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平10. 3. 31教委規則第16号）

(施行期日)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平19. 3. 23教委規則第8号）抄

(施行期日)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平20. 3. 23教委規則第14号）抄

(施行期日)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

Ⅷ. 日 誌

平成29年 (2017)	4月29日	(土)	コレクション企画展示「具象から抽象へ」「小磯良平作品選Ⅰ」開催(～7月9日)
	16日	(日)	マンズリーコンサート
	29日	(土)	美術館大作戦1「お気に入りのフレームを作ろう」
	18日	(木)	国際博物館の日・無料開館
	5月20日	(土)	美術館大作戦2「豆本を作ろう」
	21日	(日)	マンズリーコンサート
	30日	(火)	トライやるウィーク受入れ(本庄中学校 ～6月2日)
	6月6日	(火)	トライやるウィーク受入れ(渚中学校 ～6月9日)
	17日	(土)	美術館大作戦3「ステンドグラスを作ろう」
	18日	(日)	マンズリーコンサート
	7月15日	(土)	特別展「来て！見て！楽しむ！小磯良平ベストコレクション」開催(～9月3日)
	16日	(日)	マンズリーコンサート
	17日	(月・祝)	大人のための美術講座①「小磯良平のモチーフを描く」
	28日	(金)	プレミアムナイト～夜間特別開館！～
	29日	(土)	美術館大作戦4①「ミニ美術館をつくろう」
	8月11日	(金・祝)	関連講座「サインに読み解く小磯芸術の流れ」(講師：廣田生馬)
	11日	(金・祝)	プレミアムナイト～夜間特別開館！～
	12日	(土)	大人のための美術講座②「小磯良平のモチーフを描く」
	20日	(日)	マンズリーコンサート
	25日	(金)	プレミアムナイト～夜間特別開館！～
	26日	(土)	美術館大作戦4②「ミニ美術館をつくろう」
	31日	(土)	大人のための美術講座③「小磯良平のモチーフを描く」
	9月16日	(土)	特別展「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展」、「小磯良平作品選Ⅱ」開催(～11月12日)
	17日	(日)	マンズリーコンサート
	24日	(日)	美術館大作戦5「ゆらゆらモビールをつくろう」
	10月8日	(日)	美術館大作戦6「折り染めをしよう」
	9日	(月・祝)	KOBE観光の日・記念品配布
	14日	(土)	小磯カフェ開催
	14日	(土)	RICあそ美ば開催(～10月15日)
	14日	(土)	RICあそ美ば・オープニングコンサート(東灘アートマンス・オープニングを兼ねる)(演奏：鷺尾有香、島田瑠萌、大谷絢子)
	15日	(日)	マンズリーコンサート
	20日	(金)	第21回美術講座 第1回(講師：岡泰正)
	29日	(日)	記念講演会「フランス近代美術入門ーユニマットコレクションをめぐるー」(講師：岡泰正)
	11月3日	(金・祝)	関連講座「藤田嗣治が描く女性像、その視線と指先ーユニマットコレクションからー」(講師：高橋佳苗)
	7日	(火)	トライやるウィーク受入れ(葦合、魚崎、住吉、本山、向洋、上野、湊翔楠中学校 ～10日)
	18日	(土)	特別展「生誕150年記念 藤島武二展」、「小磯良平作品選Ⅲ」開催(～平成30年1月28日)
	18日	(土)	美術館大作戦7「空色コレクション」
	18日	(土)	関西文化の日・記念品配布(19日も)
	19日	(日)	マンズリーコンサート
	23日	(木・祝)	小磯カフェ開催
	23日	(木・祝)	記念講演会「藤島武二と小磯良平」(講師：廣田生馬)
	24日	(金)	第21回美術講座 第2回(講師：和田かおり氏)
	26日	(土)	美術館大作戦7「花を描こう」
	12月2日	(土)	外国人のためのワークショップ
	19日	(土)	外国人のためのワークショップ
	15日	(金)	第21回美術講座 第3回(講師：金井紀子)
	17日	(日)	マンズリーコンサート
1月14日	(日)	関連講座「藤島武二と海景画」(講師：高橋佳苗)	
19日	(土)	第21回美術講座 第4回(講師：廣田生馬)	
21日	(日)	マンズリーコンサート	
2月5日	(金)	コレクション企画展示「絵の中の音を聞く」、「小磯良平作品選Ⅳ」開催(～4月15日)	
17日	(土)	美術館大作戦8①「音色コレクション」	
18日	(日)	マンズリーコンサート	
23日	(金)	第21回美術講座 第5回(講師：浜田久仁雄氏)	
3月16日	(金)	第20回美術講座 第6回(講師：高橋佳苗)	
17日	(土)	美術館大作戦8②「音色コレクション」	
18日	(日)	マンズリーコンサート	
20日	(火)	第23回小磯記念美術館協議会開催	

Ⅷ. 建設設備概要

室別面積表(単位:㎡)

■展示部門		
・展示室1		319.4
・展示室2		283.8
・展示室3		324.0
・展示準備室		96.7
・アトリエ		94.0
■教育普及部門		
・ハイビジョンギャラリー		78.3
・絵画学習室		90.1
■保管部門		
・収蔵庫		216.7
・収蔵庫前室		56.9
・荷解場		36.6
・搬入庫		43.4
・仮置場		90.8
・倉庫1		52.4
・倉庫2		47.0
・倉庫3		11.6
・倉庫4		7.8
・文献資料室		96.8
■研究部門		
・研究室		44.1
・写真撮影室		45.8
・暗室		3.9
・会議室		50.3
■管理・一般部門		
・事務室		55.8
・館長室		40.6
・副館長室		21.0
・守衛室		21.2
・喫茶室		81.5
・風除室		24.5
・ロビー		121.2
・回廊・エントランス		467.7
・搬入ヤード		450.2
・設備・機械室		305.0
・その他		291.7
■合計		3,970.8

部門別面積表(単位:㎡)

■展示部門		1,117.9
	1F	1095.4
	2F	22.5
■教育普及部門		168.4
	1F	78.3
	2F	90.1
■保管部門		660.0
	1F	613.0
	2F	47.0
■研究部門		144.1
	1F	144.1
■管理・一般部門		1,880.4
	1F	1517.2
	2F	363.2
■合計		3,970.8
	内訳) 1F	3,448.0
	2F	522.8

■建設概要

●所在地 神戸市東灘区向洋町中5丁目7(六甲アイランド公園内)

●敷地面積 33,041.01㎡

●建築面積 1,516.12㎡

●内部仕上げ

<玄関ホール、回廊>

床:花崗岩ジェットバーナー仕上、一部本磨き

壁:釉薬タイル(4丁掛)、花崗岩ジェットバーナー仕上

天井:天然木化粧シート張(ナラ)

回廊周リガラス:紫外線防止フィルム入り合わせガラス(8・8)

<展示室1・2・3>

床:カーペット敷、t=7mm、ボーダー花崗岩本磨き

壁:クロス張

天井:クロス張

<ハイビジョンギャラリー>

床:タイルカーペット、t=7mm

壁:天然木化粧シート張(ナラ)

天井:ロックウール化粧吸音板、EP塗装

<収蔵庫>

床:フナフローリングt=18mm、合板t=12mm、亜鉛鉄板t=0.3下地

壁:特殊木質系調湿繊維板、t=25mm

天井:天然木化粧板、単板張(セン)

<ロビー>

床:タイルカーペット、t=7mm

壁・天井:天然木化粧シート張(ナラ)

<喫茶室>

床:ナラフローリング、花崗岩ジェットバーナー仕上

壁:プラスター塗

天井:天然木化粧シート張(ナラ)

<構造>

主体構造:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート、

展示室屋根 BOX型PC桁敷設

基礎:SC、PHC杭基礎

●外部仕上げ

屋根:平瓦葺(いぶし銀)

軒先:ステンレス素樹脂塗料焼付塗装 t=0.4 一文字葺

外壁:釉薬タイル(4丁掛)、ふくりん目地

花崗岩ジェットバーナー仕上

建具:ステンレス製フッ素樹脂塗料焼付塗装

●延床面積 3,970.81㎡

●構造規模 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造

地上2階

●工期 平成2年11月～平成4年3月

●建築設計・監理 神戸市住宅局営繕部

株式会社徳岡昌克建築設計事務所

●施工

建築工事:竹中・銭高・三井建設共同企業体

電気設備工事:ミナト・大藤・大宮・日の丸建設共同企業体

給水・衛生・空調・ガス設備工事:第一工業株式会社

昇降機:日本エレベーター製造株式会社

■設備概要

●電気設備 高圧受電:契約電力220kW(デマンド契約)

予備電源:発電機 90KVA

電灯:非常用照明

防災:自火報、非常放送、誘導灯、自動閉鎖(防火戸)

弱電:時計、インターホン、テレビ共同受信、ガス漏れ

警報防犯(熱線センサー)、ITV、非常呼出

●給排水設備 給水:量水器口径75mmにて引込直圧式

排水:汚水、雑排水とも直接下水本管に放流

●防災設備 屋内消火栓、ハロンガス消火設備(展示室、収蔵庫)

●ガス設備 都市ガス

●空調設備 方式:収蔵庫、展示室、ホール、回廊ノ単一ダクト方式

管理諸室ノファンコイルユニット、パッケージエアコン

冷暖房方式:熱源ノガス吸収式冷温水発生器、

100RT、空冷ヒートポンプ式チリングユニット

空気調和器:エアハンドリングユニット 6台

ファンコイルユニット 18台

カセットパッケージ 15台

(各種フィルター)

●昇降機設備 乗用11人(速度45m/min)油圧式(身体障害者対応)

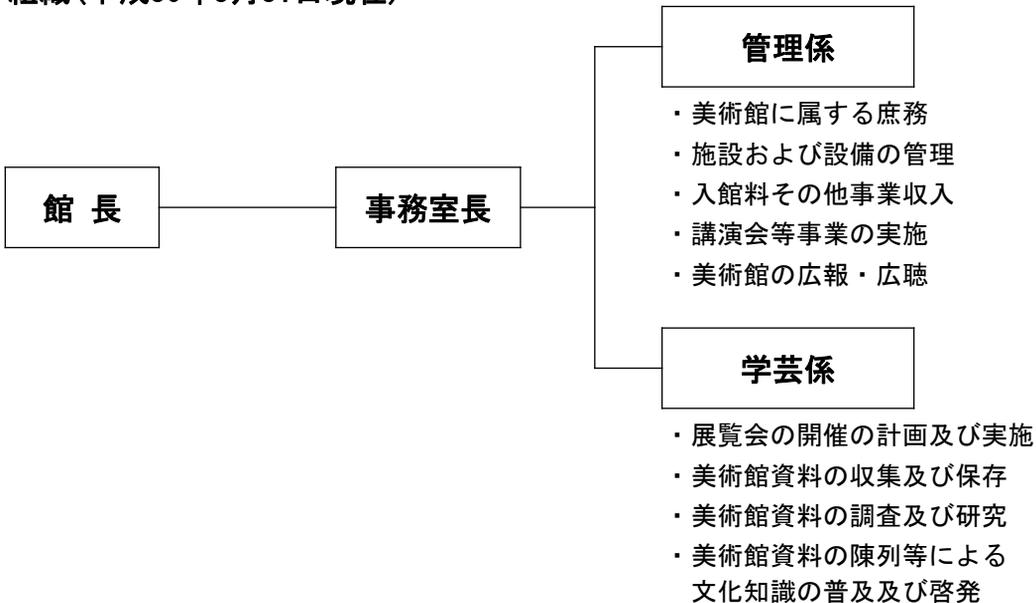
X. 神戸市立小磯記念美術館協議会・組織

美術館協議会

会長	熊田司	元和歌山県立近代美術館館長
委員	岡田修平 玉森たりほ 辻本真也子 増野俊則 岸野裕人 山脇佐江子 山田莉緒	神戸市立小学校教科研究部図工部長 神戸市婦人団体協議会理事 神戸市PTA協議会組織運営専門委員会委員長 元神戸新聞社論説委員 姫路市立美術館館長 独立行政法人国立美術館幹事 甲南大学文学部日本語日本文化科

- 第23回美術館協議会 平成30年3月20日(火) 開催
 (於 神戸市立小磯記念美術館 会議室)
 議題 (1) 小磯記念美術館の運営状況について
 (2) その他

組織(平成30年3月31日現在)



職員(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

館長	岡泰正	●管理係	●学芸係
事務室長	荒木武文	管理係長 中村晋輔	学芸係長 廣田生馬
		山下悟	指導主事 水田美保
		山内美子	学芸員 高橋佳苗

神戸市立小磯記念美術館 年報 No. 24
＜平成29年度＞

発行年月日 平成31年3月31日

編集・発行 神戸市立小磯記念美術館
〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中5丁目7
Tel 078-857-5880
Fax 078-857-3737